



**NTT DATA**  
Trusted Global Innovator

# 令和4年度新事業創出・食品産業課題解決プラットフォーム運営事業 のうちフードテック官民協議会運営等委託事業 事業報告書

2023年3月17日  
株式会社NTTデータ経営研究所

# 目次

項目	ページ数
<b>(1) 協議会事務局運営</b>	<b>3</b>
① 総会の開催	4
② 提案・報告会の開催	4
③ 会員の入退会受付、会員名簿の管理	10
④ 会員のマッチング対応	11
⑤ 会員向けの情報提供	12
<b>(2) WT及びCCの進行管理</b>	<b>13</b>
<b>(3) ビジョン及びロードマップの策定支援</b>	<b>18</b>
① ビジョンの策定支援	19
② ロードマップの策定支援	21
③ ビジョン及びロードマップの改訂	24
<b>(4) フードテックビジネスコンテスト業務</b>	<b>25</b>
① 審査委員の選任	26
② ビジネスプランの募集	28
③ 審査委員会の運営	31
④ 表彰式の運営	34
⑤ 受賞者の情報発信	37

# (1) 協議会事務局運営

# (1) 協議会事務局運営

## ① 総会の開催、② 提案・報告会の開催 (1/6)

フードテック官民協議会の総会／提案・報告会を3回開催し、ビジョン・ロードマップの作成やWT/CCからの報告、有識者講演等を実施した。なお、総会と提案・報告会は3回とも同時開催とした。

※各回の開催資料は別添資料として納品。

### 2022年度 第1回 開催概要

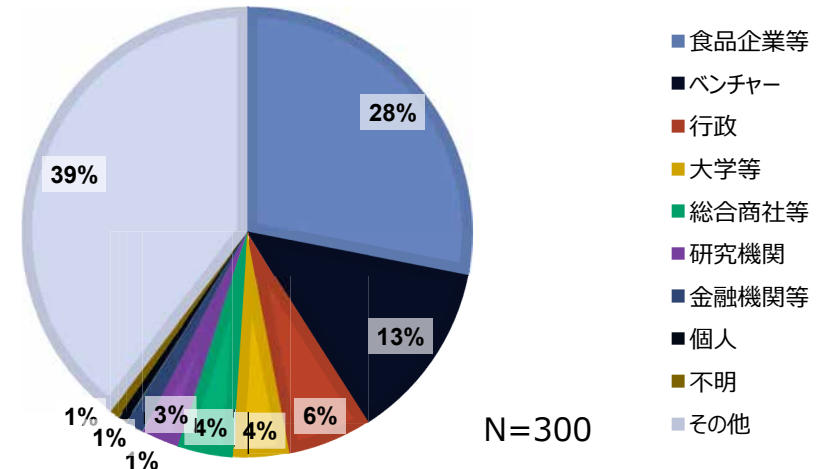
日時：2022年6月30日（木）15:00～17:00

開催方法：オンライン

議事：

1. 農林水産省ご挨拶
2. 本年度の実施内容
3. 本年度のスケジュール案
4. 重要事案（ビジョン、ロードマップ作成）に関する説明
5. 重要事案に関する意見交換
6. 会員からの提案・報告
  - 昆虫ビジネス研究開発WT
  - 細胞農業WT
  - ヘルス・フードテックWT
  - サークュラーフード推進WT
  - 細胞農業CC
  - FOOD TECH Lab CC
7. 今後の予定

第1回総会参加者内訳



# (1) 協議会事務局運営

## ① 総会の開催、② 提案・報告会の開催 (2/6)

第1回の終了後アンケートでは、ビジョン・ロードマップ案の説明に関して、7割が良く分かったと回答した。

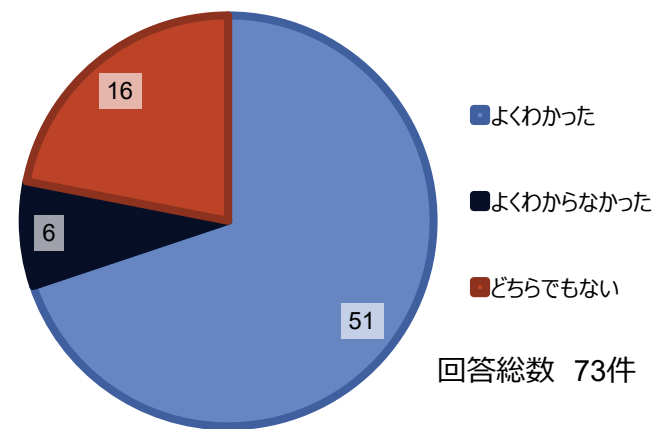
※ビジョン・ロードマップに関する意見は「(3) ビジョン及びロードマップの策定支援」に掲載

### 終了後アンケート概要

#### <総会／提案・報告会に関する主なご意見>

- 今回は開催形式が、zoomウェビナー形式だったが、**会員間の交流の意味も含めて、リアル会場**でも開催し、それに参加できない人のためにウェビナーも開催するという方式も検討してほしい。
- WTとCCの**活動状況が一覧形式で分かる情報**が欲しかった。(特に今日発表しなかった活動が動いているのかどうか等)
- WT/CCの活動を推進者の方から聞いたので活動内容が具体的に感じられた。簡潔なご報告のためもう少し時間をとって良い。

#### ビジョン、ロードマップ案の説明の理解度



# (1) 協議会事務局運営

## ① 総会の開催、② 提案・報告会の開催 (3/6)

### 2022年度 第2回 開催概要

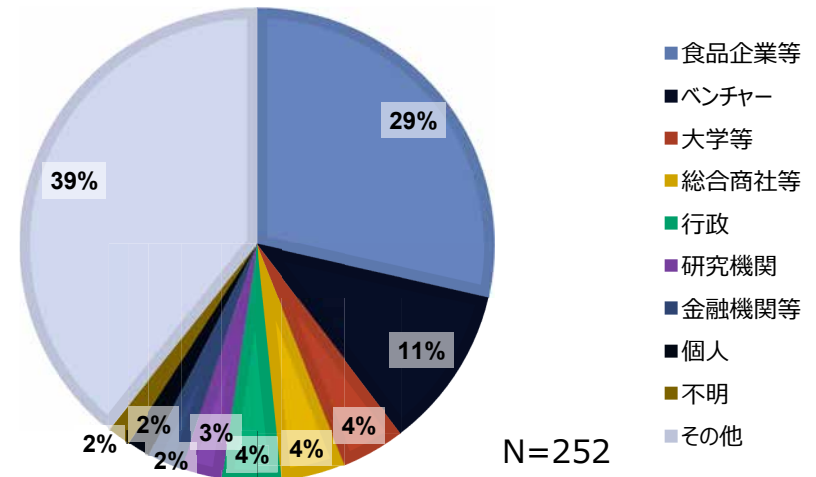
日時：2022年10月25日（火）16:00～18:00

開催方法：オンライン

議事：

1. 農林水産省ご挨拶
2. ビジョン案、ロードマップ案に関する説明
3. 会員からの提案・報告
  - ・ 昆虫ビジネス研究開発WT
  - ・ スマート育種産業化WT
  - ・ ヘルス・フードテックWT
  - ・ 細胞農業CC
4. 事務局からの情報共有
  - ・ フードテックビジネスコンテストの開催について
  - ・ 10月31日開催フードテックオープンイノベーションセミナーについて
  - ・ フードテックWEBサイトの開設について
  - ・ 農林水産省 令和5年度フードテック関連事業のご紹介
5. 講演「フードテック分野の知財戦略」  
SK弁理士法人 代表社員 弁理士 奥野彰彦様
6. 閉会

### 第2回総会参加者内訳



# (1) 協議会事務局運営

## ① 総会の開催、② 提案・報告会の開催 (4/6)

第2回の終了後アンケートは各項目を自由記載欄とし、ビジョン・ロードマップに関するご意見と、第2回総会／提案・報告会の感想をいただいた。

※ビジョン・ロードマップに関する意見は「(3) ビジョン及びロードマップの策定支援」に掲載

### 終了後アンケート概要

#### <総会／提案・報告会に関する主なご意見>

- リアル開催で交流できる機会があったら嬉しい。
- **知財の講演が面白かった**。細胞農業の方々は開発費回収が初めから念頭にあるので、知財戦略は意識されていると思うので、おそらくDtoCと昆虫の方々が一番苦勞されるのではないかと思った。
- WT/CCは2年を経て、(活動状況に) 少し濃淡が出てきている感じがある。官民連携でのオープンな協議体なので、常に広くメンバー参加者を募って、絶えず新陳代謝していかないといけないのでは。

# (1) 協議会事務局運営

## ① 総会の開催、② 提案・報告会の開催 (5/6)

### 2022年度 第3回 開催概要

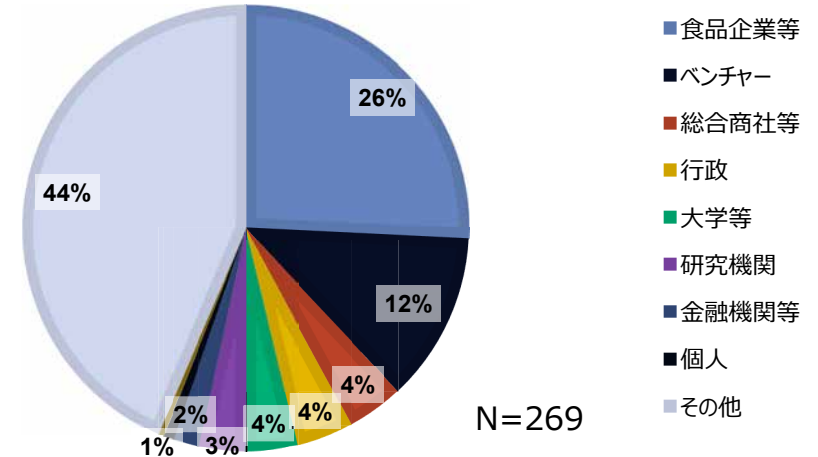
日時：2023年2月21日（火）14:00～16:00

開催方法：ハイブリッド

議事：

1. 農林水産省ご挨拶
2. 議長の選出
3. フードテック推進ビジョン及びロードマップの決議
4. 支援策等の説明①  
(役所からのフードテック関連予算の説明)
5. フードテック推進ビジョン及びロードマップ決議結果発表
6. 支援策等の説明②  
(VC等支援機関からの説明)
7. 昆虫輸出規制調査の結果概要の説明
8. 講演「脳から考えるフードテック」  
(一社) 応用脳科学コンソーシアム理事・事務局長萩原一平様
9. 会員からの活動報告
10. 食料・農業・農村基本法の検証・見直しについて
11. ネットワーキング
12. 閉会

### 第3回総会参加者内訳



### 当日の様子





# (1) 協議会事務局運営

## ① 総会の開催、② 提案・報告会の開催 (6/6)

第3回の終了後アンケートは各項目を自由記載欄とし、ビジョン・ロードマップに関するご意見と、第3回総会／提案・報告会の感想をいただいた。

※ビジョン・ロードマップに関する意見は「(3) ビジョン及びロードマップの策定支援」に掲載

### 終了後アンケート概要

#### <総会／提案・報告会に関する主なご意見>

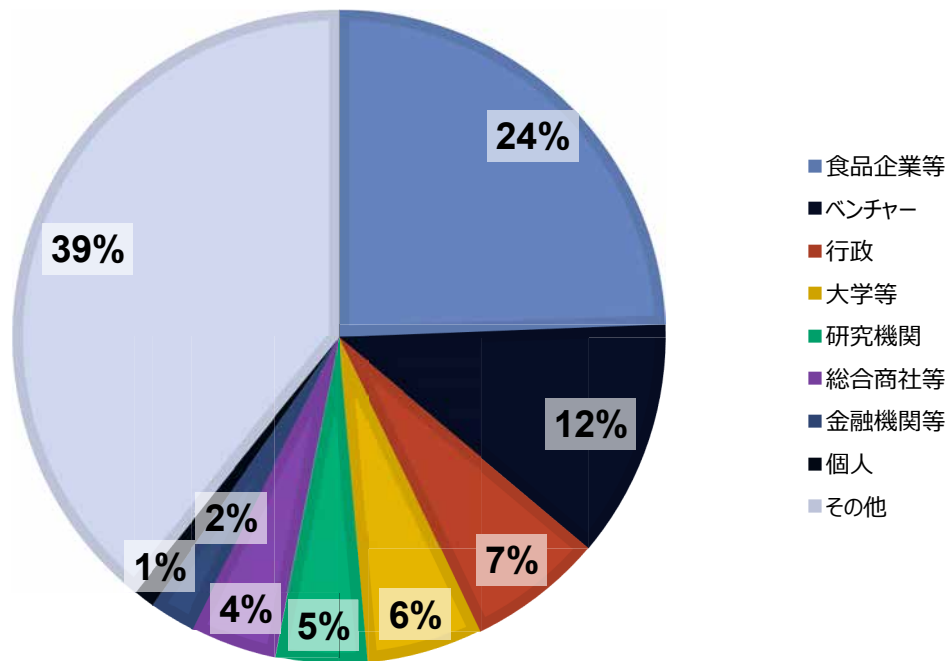
- 脳科学の講演について、味覚だけではなく、視覚をはじめとする**五感全体のマーケティングアプローチの重要性を改めて認識**し、大変興味深かった。
- それぞれのワーキングチームの活動を知ることができてよかった。
- 全体として活動の流れを把握する良い機会だった。若干、補助金関連の説明配分が多く、WTやCCの説明の時間を圧迫している気がした。
- 他のWTの**取り組みからヒントを得ることもでき良い機会**を頂けた。我が国にフードテック革命が起きる期待が持てた。

# (1) 協議会事務局運営

## ③ 会員の入退会受付、会員名簿の管理

会員の入退会は、農林水産省のWEBサイトにリンクを設置した当社の「資料請求フォーム」を通じて実施。会員数は約1,020人から約1,160名となり、事業期間中に100人以上増加した。

フードテック官民協議会会員内訳



# (1) 協議会事務局運営

## ④ 会員のマッチング対応

会員からの問い合わせやマッチングの依頼等計45件を受け付け、対応した。

### 主な問い合わせの例と対応

問い合わせ内容	事務局対応
フードテック・マンスリーレポートでの情報配信	貴省確認の上、情報配信を実施。
ビジョン・ロードマップに関するご意見・ご質問	貴省確認の上、メールにてご回答。
総会/提案・報告会出席方法等に関するご質問	貴省確認の上、メールにてご回答。
WT/ CCへの参加希望	WT/ CCの新規メンバー受付状況に応じて、窓口となる担当者を紹介。
会員情報の変更	受け付け、変更を反映。

# (1) 協議会事務局運営

## ⑤ 会員向けの情報提供

会員向けの情報提供として、毎月国内外のフードテックをめぐる動向やフードテックに関連する情報をメールマガジン「フードテックマンスリーレポート」にて配信した。また、貴省や会員からの依頼に基づき、月次以外にもメールマガジンで会員に対して関連する情報を提供した。

### フードテックマンスリーレポートのタイトルトピック

発行月	件名に付した主要なトピック
2022年5月	総会提案・報告会の予定、補助事業募集 等
2022年6月	総会提案・報告会を本日開催 等
2022年7月	フードテックビジネスモデル実証事業公募は8月16日（火）まで
2022年8月	WTCCのメンバー募集最新情報について など
2022年9月	第2回総会提案・報告会の募集開始、フードテック官民協議会WT・CCによる行事の主催等ルール制定 他
2022年10月	フードテック官民協議会ビジコンエントリー募集、「地域発！フードテック企業特集」開催のご案内 他
2022年11月	フードテックオープンイノベーションセミナー参加者募集、第3回「フードテックWeek東京」開催 他
2022年12月	フードテックビジネスコンテスト本選大会観覧者募集／「培養肉普及に向けたルール作りを」企業や研究者が提言 他
2023年1月	総会／提案・報告会の会場参加及びオンライン参加申込受付中
2023年2月	総会／提案・報告会にてフードテック推進ビジョン及びロードマップが可決されました

## (2) WT及びCCの進行管理

## (2) WT及びCCの進行管理

### ① 活動概要

2022年度は新たに食生活イノベーションWTが立ち上がり、計9 WT/CCが活動している。

#### 昆虫ビジネス研究開発WT

動物飼料用、食料用の昆虫の市場を形成していくための生産方法や、研究、安全性の評価、用途開発等の課題を特定し、解決に向けた検討、実証を行う。

#### 細胞農業WT

研究開発が進む細胞農業(培養肉)の産業化に向け、①安全性、表示の在り方、②消費者とのコミュニケーション、③既存産業との共存の仕組みと役割分担の明確化等について検討を行う。

#### サーキュラーフード推進WT

捨てられるはずだった食品を新たな食料として循環させる「サーキュラーフード」の推進を通じ、持続可能な社会の実現に向けた検討を行う。

#### 食生活イノベーションWT

多世代が集いやすいスマートキッチンや、買い物における行動変容をスコア化するサービスなど、デジタル技術等を活用し食を通じたコミュニケーションを促進するための検討を行う。

#### FoodTech Lab CC

フードテック領域の国際動向、日本企業、研究機関、団体の取組などの情報を集約し、発信するWEBサイト「FoodTech Lab」を運営する。  
<https://foodtech-lab.jp/>

#### スマート育種産業化WT

ゲノム編集等による今後のビジネス市場を形成していくための事業化プロセス、技術的な課題を特定し、その解決に向けた検討を行う。

#### Plant Based Food普及推進WT

健康、気候変動など連鎖する食をめぐる課題を自分ごと化し日々の生活でサステナブルな選択ができるよう、プラントベースフードの意義や行動変容を促す方策等の検討を行う。

#### ヘルス・フードテックWT

食の高いQOL実現に向け、検討体制を構築し、実現のための技術課題を特定、その解決策について検討を行う。

#### 細胞農業CC

細胞培養技術を用いて農作物、水産物を生産する細胞農業（培養肉、精密発酵など）に関する情報発信、各種調査を通じ、同分野の理解促進、受容を目指す。

#### SPACE FOOD WT

国際的に競争力の高い有人宇宙滞在技術の実現と日本の食産業の競争力強化を目的として、宇宙食に係るフードテックの研究開発目標やロードマップ等について検討を行う。

## (2) WT及びCCの進行管理

### ② ヒアリング

各WT/CCに対して状況の把握と、ビジョン・ロードマップ案に関する意見聴取を目的にヒアリングを実施した。

#### ヒアリング実施状況

実施日	WT/CC
2022年8月1日	スマート育種産業化WT
2022年8月1日	昆虫ビジネス研究開発WT
2022年8月2日	Plant Based Food普及推進WT
2022年8月2日	ヘルス・フードテックWT
2022年8月2日	細胞農業WT
2022年8月3日	細胞農業CC
2022年8月16日	Food Tech Lab CC
2022年8月18日	サーキュラーフードWT

## (2) WT及びCCの進行管理

### ③ 活動状況の把握 (1/2)

各WT/CCが開催するイベントや会合に出席し、活動状況を把握した。

#### WT/CCの主な会合等活動

WT/CC	実施日	タイトル・概要
スマート育種産業化WT	2022年10月19日	第4回WT会議（提言へのフィードバック共有）
昆虫ビジネス 研究開発WT	2022年5月13日	WT会議（ガイドライン検討）
	2022年11月~12月	WT会議（メール会議でミズアブ生産ガイドラインについて案作成）
	2023年1月13日	WT会議（ガイドライン検討）
Plant Based Food 普及推進WT	2022年6月22日	第4回ミーティング「日本のプラントベースフード、その開発最前線に迫る！」
	2023年3月	第5回ミーティング「小売、飲食でのPBFの動向」
ヘルス・フードテックWT	2022年5月31日	WT会議 講演「食品の機能性を裏付ける科学的エビデンス」
	2022年7月14日	WT会議 講演「食の個別化を達成するためにはどうすればいいのか？」
	2022年8月30日	WT会議 講演「食の個別化最新事例紹介」
	2022年12月1日	WT会議 講演「消費者が求める食の個別化」
細胞農業WT	通年	メール等ツールでガイドライン、政策提言書の作成等を推進
サーキュラーフードWT	2023年1月19日	WT会合（認証制度検討に関する説明）



## (2) WT及びCCの進行管理

### ③ 活動状況の把握 (2/2)

#### WT/CCの主な会合等活動

WT/CC	実施日	タイトル・概要
食生活イノベーションWT	2022年9月28日	第1回会議 パーソナライズ等観点の議論
	2022年10月25日	第2回会議 「シェアダイニング」の話題提供等
	2022年11月25日	第3回会議 食べ物のおいしさを決定する要素等に関する話題提供
	2023年1月18日	第4回会議 減塩に関する話題提供
	2023年2月26日	第5回会議 ロードマップ等に関する議論
Food Tech Lab CC	—	会議の開催は無し
細胞農業CC	2022年7月28日	令和4年度第2回細胞農業CC全体会「学術集会直前！～細胞農業への期待を語ろう～」
	2022年8月28日	「第4回細胞農業会議」内シンポジウム「次世代タンパク質の社会実装に向けた現状と今後の展望」

### (3) ビジョン及びロードマップの策定支援

### (3) ビジョン及びロードマップの策定支援

#### ① ビジョンの策定支援 (1/3)

ビジョンの策定に当たり、当社より会員に対して総会／提案・報告会とアンケートフォームを通じて意見聴取を行った。

別途パブリックコメントを通じて会員以外に向けた意見聴取も実施している。

会員からの意見は、貴省と協議の上回答をした。

#### ビジョン・ロードマップの検討スケジュール



## (3) ビジョン及びロードマップの策定支援

### ① ビジョンの策定支援 (2/3)

総会／提案・報告会では説明後、質疑応答の時間を設けたほか、終了後のアンケートでも追加のご意見を受け付けた。

#### 総会／提案・報告会で得た会員からのビジョンに関する主なご意見

ご意見	方法
「消費者理解の確立」「目に触れ口にする機会の提供」について、フードテックから生まれてくる商品が消費者に認知されて、手に届くまでの領域においてもテックが求められていくのではないかと考えている。 例えば、取り組みの初期段階の頃には、社会課題の解決への感度が高い方、関心が高い方が多いようなアプリ（例えばプラントイオ、バイオーム）があるが、そのようなユーザーに向けて、効率よくフードテックの商品を届ける仕組みがあってもよいのではないかと。その領域に対して支援する取組があってもよいのではないかと。	総会でのご発言
ルール作りという観点で、アウトプットがなければスタートアップの育成には繋がらないのではないかと。懸念として、海外でルール作りの進んでいるところがあれば、そこをめざして有望なスタートアップの海外流出が起こる可能性が挙げられる。	総会でのご発言
情報技術による健康実現で、ここでは健康ということに限定されているようにみえるが、健康というのは食が持つ一つの側面であり、その他にも食べる楽しみや喜びも含まれる。また、生産・製造・販売・流通となると、環境問題にも非常に大きな影響を与えることになる。そのため、心身・社会的に幸福な状態（well-being）が、情報技術による健康実現のゴールであると思っている。	総会でのご発言
ビジョンについて、冒頭文言を読んだだけでは、目指す姿（3）にあるようなwell-beingが感じられにくいと思った。今後の検討過程でフードテックの食料や環境の問題解決、経済発展、人々の幸せ、well-beingを示して頂けると、より魅力的な姿になると思う。	総会でのご発言

## (3) ビジョン及びロードマップの策定支援

### ① ビジョンの策定支援 (3/3)

ビジョンでは、フードテック分野に対して投資を呼び込むための環境整備の手法について検討するため、VC等を対象に有識者へのヒアリングを実施した。

#### ヒアリング実施状況

実施日	ヒアリング対象者
2022年8月19日	オイシックス・ラ・大地株式会社 松本様、村田様
2022年8月19日	株式会社リバネス 高橋様、塚田様
2022年9月20日	農林中央金庫 高橋様、秋山様、伊藤様

### (3) ビジョン及びロードマップの策定支援

#### ② ロードマップの策定支援 (1/2)

ロードマップの策定に当たり、ビジョンと同様に意見聴取を行った。また、各WT/CCと意見交換を実施した。

※WT/CCとの意見交換概要は「(2) WT及びCCの進行管理②ヒアリング」と同じたため割愛

#### 総会／提案・報告会で得た会員からのロードマップに関する主なご意見

ご意見	方法	該当箇所
アメリカにおいて健康データの取り扱い、個人情報保護、管理のために厳格化している。EUのGDPR（一般データ保護規則）もある。世界的にそのような流れの中で、 <b>健康関連データ取り扱いのガイドライン</b> はどのように進むのか。	総会でのご発言	ロードマップ案 「情報技術による人の健康実現」
<b>全て民間企業、業界団体になっているが、将来的にはルール形成には国の関与が必要</b> である。既に食品衛生法、飼料安全法（俗称）があるので、ガイドラインレベルでは関与の必要はないかもしれないが、昆虫普及への最大のネックは社会受容性（許容性）である。これに対して、どのように生産管理していくかについて国が関与することは極めて重要と考えている。	総会でのご発言	ロードマップ案 「昆虫食・昆虫飼料」
ロードマップでコオロギや他の昆虫についての <b>生産ガイドラインを整備</b> していくとあるが、これは <b>一次産業のガイドラインである</b> と思っている。	総会でのご発言	ロードマップ案 「昆虫食・昆虫飼料」
植物性食品について、卵製品も植物性原料を使ったものでないとEUには入れられないだろうという目測で動くべきだと思う。法整備を待ってからという考えもあるが、早々に先を見越した動きが必要ではないかと思う。また、 <b>対象とされる顧客・消費者が非常にわかりにくい</b> と感じた。顧客が不明確な中で、提供者側がどのようなニーズに、どう対応するのかということで苦慮をしているイメージがある。 <b>戦略を作る上では顧客・市場が前提であることを、今一度共有されるのがよい</b> と思う。我々はグループ会社で国産のこんにゃくとキクラゲを使って植物性の卵を開発して、海外での展開を始めている。日本では保育園、幼稚園のアレルギーを持った子供たちに向けて販売を始めており、手応えを感じているため、他の参加企業でも不可能な話ではないと考える。	総会でのご発言	ロードマップ案 「植物由来の代替タンパク質源」

## (3) ビジョン及びロードマップの策定支援

### ③ ビジョン及びロードマップの改訂

ビジョン及びロードマップは、2023年2月に開催した第3回総会／提案・報告会にて、会員投票を実施し、賛成の割合95%で可決した。

※可決したビジョン、ロードマップは別添資料として納品。

#### 投票結果

内訳	投票数
全投票	124
有効票	115
賛成	109
反対	1
棄権	5
無効票	9

## (4) フードテックビジネスコンテスト業務



## (4) フードテックビジネスコンテスト業務

### ① 審査委員の選任 (1/2)

フードテックや、フードテックを活用したビジネスの情勢はもとより、食料需給・環境負荷低減など社会課題のマクロ的な視点、健康・環境志向など消費者需要やそれを含めた食産業、起業家育成・支援、資金調達、民連携等の観点に知見を持つ、全国の学識経験者、実需者、支援者などより二次審査員では以下4名を選任した。

氏名	所属	プロフィール
有馬暁澄	Beyond Next Ventures 株式会社 Partner Agri/FoodTech Lead Capitalist	丸紅入社。穀物本部にて、トレーディング事業を通じて生産から販売までのアグリ全般に携わる。2019年8月、当社に参画。アグリ・フードテック領域のスタートアップへの出資・成長支援に従事。産学官民のアグリ・フードのエコシステム構築にも邁進。慶應義塾大学理工学部生命情報学科卒業。
大野泰敬	株式会社スバックホルダー 代表取締役社長 農林水産省 農林水産政策研究所 客員研究員 株式会社日本能率協会総合研究所 顧問	複数企業を経営する事業家兼投資家。ラジオNIKKEIの情報番組「ソウミラ」のメインパーソナリティ。ソフトバンク株式会社で新規事業などを担当した後、CCCで新規事業に従事。2008年にソフトバンクに復帰し、当時日本初上陸のiPhoneのマーケティングを担当し、シェア拡大に貢献。独立後は、企業の事業戦略、戦術策定、M&A、資金調達などを手がけ、大手企業14社をサポート。テクノロジーに精通しており、東京オリンピック大会組織委員会ITアドバイザー、農林水産省農林水産政策研究所客員研究員にも就任。現在は大手企業の顧問・アドバイザーなど複数兼務しながら、地域活性化や観光サポートなどを実施。
進藤かおり	株式会社パソナグループ 執行役員常務取締役	パソナグループにてIRの責任者を務める。日系投資顧問会社のファンドマネジャーだった経験を活かし、ESGによる企業価値向上に注力。また企業の社会的責任としての活動目標SDGsにおいても、事業の多面的な活動への理解と共感を促進するだけでなく、SDGsを軸とした新規事業の開発支援も行う。日本証券アナリスト協会検定会員。
村田靖雄	オイシックス・ラ・大地株式会社 経営企画本部 FFF 室 兼 Future Food Fund 株式会社 ファンドマネ ジャー	2008年よりオイシックス株式会社に入社、品質管理、青果仕入れ、店舗事業部などを経て、2018年より経営企画本部にてベンチャー投資セクションに配属。2019年食に特化したベンチャー投資を行う「Future Food Fund 1号投資事業有限責任組合」を組成、ファンドマネジャーとしてCVCの運営を行う。Future Food Fund は、CVCでありながら、他の食に関係する事業会社からの出資を集めて運営する、ユニークな組織形態が特徴です。オイシックスの前職でも、農産物、加工食品双方の商品開発を経験し、投資先のベンチャーには主に事業面での支援を行う。

## (4) フードテックビジネスコンテスト業務

### ① 審査委員の選任 (2/2)

本審査委員では二次審査の審査員と重複しない形で、以下4名を選任した。

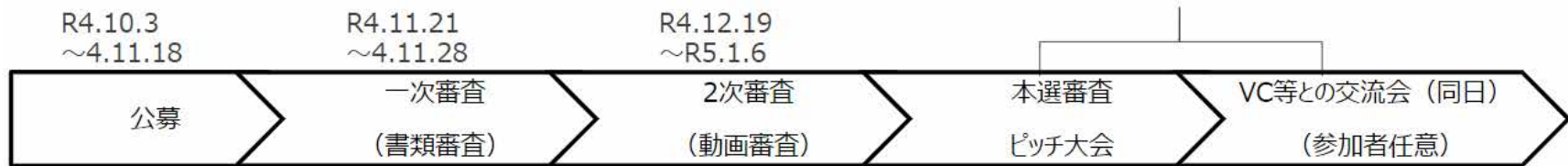
氏名	所属	プロフィール
荻野 浩輝	一般社団法人AgVenture Lab 代表理事 理事長	1990年農林中央金庫入庫。2000年UC-Berkeleyに留学。2017年デジタルイノベーション推進部新設、執行役員同部長就任。2019年5月AgVenture Labを設立、代表理事理事長就任。2021年4月農林中央金庫特別参与就任。神戸大学アントレプレナーシップセンター客員教授。
田中 宏隆	株式会社シグマクス 常務執行役員 SKS JAPAN主催者 一般社団法人 SPACE FOODSPHERE 理事 ベースフード株式会社 社外取締役 クックパッド株式会社 社外取締役	パナソニックを経て、マッキンゼーにてハイテク・通信業界を中心に8年間に渡り、成長戦略立案・実行、M&A、新事業開発、ベンチャー協業などに従事。17年、シグマクスに参画。同年、スマートキッチン・サミット・ジャパンを立ち上げ、以来食を起点とした事業共創エコシステムの形成を通じた新産業創出を目指す。米スマートキッチン・サミット (SKS)、Rethink Food (米CIA) をはじめとした国内外での多数の講演、メディアを通じた情報発信にも積極的に取り組む。21年4月より、NHKラジオ「マイあさ！」にレギュラー出演。『フードテックの未来』(18年/日経BP総研) 監修、『フードテック革命』(20年/日経BP) 共著。
釣流まゆみ	(株)セブン&アイ・ホールディングス執行役員 経営推進本部 サステナビリティ推進部 シニアオフィサー	・津田塾大学国際関係学科卒業 ・(株)西武百貨店入社 (現(株)そごう・西武)。 ・池袋本店婦人雑貨部、販売促進部、等を経た後、営業部門へ。執行役員顧客サービス部長、執行役員池袋本店副店長、執行役員所沢店店長、執行役員東戸塚店店長、執行役員文化プロモーション部長。 ・2019年3月より(株)セブン&アイ・ホールディングスへ。グループ環境宣言「GREEN CHALLENGE 2050」の達成を推進。
松本恭幸	アグリビジネス投資育成株式会社 取締役 代表執行役 兼 最高投資責任者	静岡県出身。慶応大学経済卒、コーネル大MA、ロンドン大Ph.D.。日本長期信用銀行を経て1999年農林中央金庫入庫。開発投資部副部長、シンガポール支店長、営業第二部長、投融資企画部長、常務理事、常務執行役員グローバル・インベストメント本部副本部長、常務執行役員食農法人営業本部副本部長を歴任し、現職に就任。

## (4) フードテックビジネスコンテスト業務

### ② ビジネスプランの募集 (1/2)

農林水産省及びフードテック官民協議会との協議の上、以下の通り行った。

- 実施スケジュール：



- 実施方法：個人でも応募可能な『アイデア部門』、事業化を目的とした『ビジネス部門』を設定した

#### アイデア部門

【応募内容】  
フードテック領域で、解決すべき社会課題を設定し、それを解決するためのアイデアを募集する

#### 【応募資格】

- ・個人（学生、研究者、一般社会人等）
- ・学生や社会人等のサークル等

#### ビジネス部門

【応募内容】  
フードテック領域で、解決すべき社会課題に対し、実現に向けてのロードマップが設定されている。まだ他で事業化されていないアイデアを募集する。

#### 【応募資格】

- ・法人格を有する団体・企業及びそれらに属するプロジェクトチーム、もしくは個人事業主等

# (4) フードテックビジネスコンテスト業務

## ② ビジネスプランの募集 (2/2)

専用Webサイトにて募集要項を公開。公募期間は令和4年10月3日(月)～令和4年11月8日(金)とし、メルマガ、Facebook、農林水産省HP等により周知し、複数の応募があった。

### エントリー画面

令和4年度未来を創る！フードテックビジネスコンテスト

アンケートの入力 • 入力内容の確認 • 完了

プライバシーポリシーに同意の上、必要事項のご入力をお願い致します。  
必須項目については必ずご入力をお願いします。

◎ お名前  
\_\_\_\_\_  
◎ メールアドレス  
\_\_\_\_\_  
◎ 電話番号  
\_\_\_\_\_

Q1: 所属先(企業名・団体名・学校名等)の記入をお願いします。  
\_\_\_\_\_

Q2: 応募者の職歴(複数名で応募の場合は代表者のみ)の記入をお願いします。  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

Q3: 「アイデア部門」「ビジネス部門」応募される部門をお選びください。(どちらか一つを選択)  
\*募集プランを再確認ください。  
 「アイデア部門」に応募  
 「ビジネス部門」に応募

Q4: 「アイデア」もしくは「ビジネスプラン」題名(20文字以内)  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

Q5: 「アイデア」もしくは「ビジネスプラン」の内容(400字以内)\*別途、プランの概要が分かる資料を添付ください。ビジネス部門は「事業化までの計画(ロードマップ)」も記載してください(あわせてA4サイズ5枚以内としてください)。  
  
【アイデア部門】新規性、課題解決力(技術の新規性や有効性等)についての詳しい説明をお願いします。  
【ビジネス部門】実現可能性(事業計画や想定顧客等)についての詳しい説明をお願いします。  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

Q6: この「アイデア」もしくは「ビジネスプラン」によって想定される効果(400文字以内)  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

ご登録いただいた情報の本事業の運営以外での利用は行いません。

一次審査(書類選考用)WEBサイトエントリーフォーム

### 周知先(一例)

NO	媒体	実施先・対象	対応者
1	プレスリリース	農林水産省	農林水産省
2	プレスリリース	パソナ農援隊	パソナ農援隊
3	プレス関連	@プレス	NTTデータ経営研究所
4	HP	農水省官民協議会告知ページ	農林水産省
5	HP	FoodTechLab	NTTデータ経営研究所
6	HP(お知らせ)	NTTデータ経営研究所	NTTデータ経営研究所
7	HP	パソナ農援隊	パソナ農援隊
8	HP	LFP	食農共創プロデューサーズ
9	メルマガ	官民協議会	NTTデータ経営研究所
10	メルマガ	「知」の集積と活用の場	農林水産省
11	メルマガ	6次産業化・地産地消	農林水産省
12	メルマガ	関東経産局次世代産業課	農林水産省
13	メルマガ	食料産業クラスターメルマガ	食品供給研究センター
14	メルマガ	食Pro.プロ級段位認定者メルマガ	食農共創プロデューサーズ
15	メルマガ	食Pro.委員関係団体メルマガ	食農共創プロデューサーズ

## (4) フードテックビジネスコンテスト業務

### ③ 審査委員会の運営 (1/3)

1次審査、2次審査は以下要領で書面開催とした。

#### ■ 本事業の審査の流れ



(1) 1次審査 (パソナ農援隊/フードテック官民協議会事務局 (NTTデータ経営研究所) : 令和4年11月21日～令和4年11月28日

#### 【審査項目】

- ・フードテックビジネスコンテスト応募要項に反している内容か
- ・フードテックビジネスに合致した内容となっていないか
- ・既に事業化されている類似のフードテックビジネスのアイデアではないか。
- ・コンプライアンス (薬事法など関係諸法に違反・他者への誹謗中傷) に反する内容ではないか。

(2) 2次審査 (外部審査員による動画審査) : 令和4年12月19日～令和5年1月6日

書類審査を通過した応募者に対し、5分間プレゼンテーション動画及びプレゼンテーション資料を作成・提出により、外部審査員4名による審査を行った。

#### 【審査項目】

##### 事業目的の理解度

本事業が、フードテック領域で、解決すべき社会課題を設定し、それを解決するためのものであることを理解し、それに即した内容となっていること

##### 新規性

着眼点が斬新であること、食の観点で効果的であること

##### 実現可能性

事業化の可能性が高いこと・実現可能性が高いこと

##### 将来性

ビジネスとして成長が見込めること、収益性があること

##### 課題解決力

人口増加に対応した食料供給や環境保護等、食に関する社会課題への理解度、課題解決へのインパクトがあること



動画審査用プレゼンテーション動画

## (4) フードテックビジネスコンテスト業務

### ③ 審査委員会の運営 (2/3)

本選審査はピッチ大会として、PASONA SQUARE 16階ホールで開催した。

#### ■ 最終審査 (本選審査)



#### ■ 当日スケジュール

開催日：2023年(令和5年)2月4日(土)  
開催場所：東京都港区南青山3丁目1番30号  
PASONA SQUARE 16階ホール

#### 第1部 13時00分～16時40分

未来を創る！フードテックビジネスコンテスト

11時00分	本選出場者 集合/リハーサル
12時00分	審査員ご参集
12時00分	審査方法について説明
12時30分	FTBCサポーター会場入り 一般観覧者・オンライン観覧者入室
12時55分	審査員・農林水産省 会場へ移動
13時00分	フードテックビジネスコンテスト 開始
16時15分	結果発表・審査員講評・受賞者フォトセッション
16時40分	フードテックビジネスコンテスト 終了 受賞者フォトセッション

#### 第2部 16時50分～18時10分

ビジネスコンテスト受賞者(任意参加)と審査員、FTBC\*サポーターとの交流会

16時50分	交流会開催挨拶 受賞者紹介 参加審査員、FTBCサポーター紹介
17時25分	交流会中締め
17時30分	VC社等による個別アドバイス・マッチング
18時10分	終了

## (4) フードテックビジネスコンテスト業務

### ③ 審査委員会の運営 (3/3)

本選出場者はアイデア部門から4名、ビジネス部門からの7名。受賞者は5名。

情報はホームページにて公開 ([https://foodtech-evolve.jp/assets/image/contest\\_result.pdf](https://foodtech-evolve.jp/assets/image/contest_result.pdf))

#### ■本選出場者

7分間のプレゼンテーション・5分間質疑応答

部門	発表タイトル	発表者
アイデア部門	米Time for Your Health	安孫子 眞鈴
	お菓子のデジタル自販機	増田真凜・立野未紗
	セミの幼虫の自動収集装置の開発と加工と商品化	伊藤洋平
	シン・ゴハン『まあいご飯のおやつ』	小南藤枝
ビジネス部門	ペプチド養殖を実現するための革新的ペプチド高効率生産プロセスの開発	上田真澄
	ナノバブルによる生産性向上と循環社会実現	奥山祐一
	全国の蔵元から厳選した日本酒缶ブランド	玄成秀
	すべての人の未来に寄り添う「AI食」	小山正浩
	イェバエによる資源循環 ～養虫産業の創出～	木下敬介
	地球環境にやさしい宙(そら)ベジの普及	木村俊介
	雌雄産み分けによる高効率な精密畜産技術の開発	白川晃久

#### ■本選結果

	発表者	所属	題名	部門
最優秀賞	木村 俊介 氏	株式会社TOWING	地球環境にやさしい宙(そら)ベジ	ビジネス部門
優秀賞	小山 正浩 氏	株式会社ウェルナス	すべての人の未来に寄り添う「AI食」	ビジネス部門
学生賞	安孫子 眞鈴 氏	山形大学 大学院	米 Time for Your Health	アイデア部門
特別賞	玄 成秀 氏	株式会社Agnavi	全国の蔵元から厳選した日本酒缶ブランド	ビジネス部門
特別賞	小南 藤枝 氏	衣笠屋	シン・ゴハン『まあいご飯のおやつ』	アイデア部門

## (4) フードテックビジネスコンテスト業務

### ④ 表彰式の運営 (1/2)

各賞に対して、FTBCサポーター（賛助企業）より副賞が提供された（最優秀賞と優秀賞分を記載）。

#### ■最優秀賞（1組）

FTBCサポーター企業名
くら寿司株式会社 様
株式会社中西製作所 様
SK弁理士法人 様
株式会社コル 様
ICS-net株式会社 様
株式会社 島津製作所 様
オイシックス・ラ・大地 株式会社 様 Future Food Fund 株式会社 様
キューピー株式会社 様

#### ■優秀賞（1組）

FTBCサポーター企業名
くら寿司株式会社 様
株式会社コル 様
ICS-net株式会社 様
株式会社 島津製作所 様
オイシックス・ラ・大地 株式会社 様 Future Food Fund 株式会社 様
キューピー株式会社 様



## (4) フードテックビジネスコンテスト業務

### ④ 表彰式の運営 (2/2)

表彰式後は、交流会を開催。交流会中に副賞の一環であるベンチャーキャピタル等のメンタリング時間も確保。

#### ■ 交流会の運営

##### ■ 当日スケジュール

開催日：2023年（令和5年）2月4日（土）

開催場所：東京都港区南青山3丁目1番30号 PASONA SQUARE 16階ホール

16時50分～18時10分

16時50分 交流会 開会アナウンス、交流会の流れの説明

16時53分 交流会 開会ご発声：一般社団法人 AgVenture Lab  
代表理事 理事長 荻野 浩輝 様

16時56分 全体交流会（参加者：発表者、FTBCサポーター、VC、一般参加者、審査員等）

17時25分 中締めご発声：アグリビジネス投資育成株式会社  
取締役 代表執行役 兼 最高投資責任者 松本 恭幸 様

17時30分 VC社等による個別アドバイス・マッチング（参加者：発表者、FTBCサポーター、VC等）

18時10分 交流会 閉会アナウンス、終了

交流会のスケジュール	
16時50分～	開会アナウンス 交流会の流れの説明
16時53分～	開会ご発声
16時56分～	全体交流会
17時25分～	中締めご発声
17時30分～	個別アドバイスの説明
17時35分～	個別アドバイス
18時10分～	閉会アナウンス



## (4) フードテックビジネスコンテスト業務

### ⑤ 受賞者の情報発信 (1/2)

フードテックビジネスコンテスト開催後は、受賞者の情報発信を行った。

情報はホームページにて公開 (<https://foodtech-evolve.jp/business-contest/report>)

no	部門	ページURL	タイトル	撮影
1	ビジネス(最優秀賞)	<a href="https://www.youtube.com/watch?v=HlpuxCFy_s4">https://www.youtube.com/watch?v=HlpuxCFy_s4</a>	地球環境にやさしい畜(そら)ベジの普及	木村 俊介 (株式会社TOWING)
2	ビジネス(優秀賞)	<a href="https://www.youtube.com/watch?v=j0ogoDwffG4">https://www.youtube.com/watch?v=j0ogoDwffG4</a>	すべての人の未来に寄り添う「AI食」	小山 正浩 (株式会社ウェルナス)
3	アイデア(学生賞)	<a href="https://www.youtube.com/watch?v=o331ciGusQw">https://www.youtube.com/watch?v=o331ciGusQw</a>	米Time for Your Health	安孫子 真鈴 (山形大学大学院)
4	ビジネス(特別賞)	<a href="https://www.youtube.com/watch?v=sZ60Fv-buYI">https://www.youtube.com/watch?v=sZ60Fv-buYI</a>	全国の蔵元から厳選した日本酒缶ブランド	玄 成秀 (株式会社Agnavi)
5	アイデア(特別賞)	<a href="https://www.youtube.com/watch?v=g5VImCJ2t44">https://www.youtube.com/watch?v=g5VImCJ2t44</a>	シン・ゴハン『まああるいご飯のおやつ』	小南 藤枝 (衣笠屋)



## (4) フードテックビジネスコンテスト業務

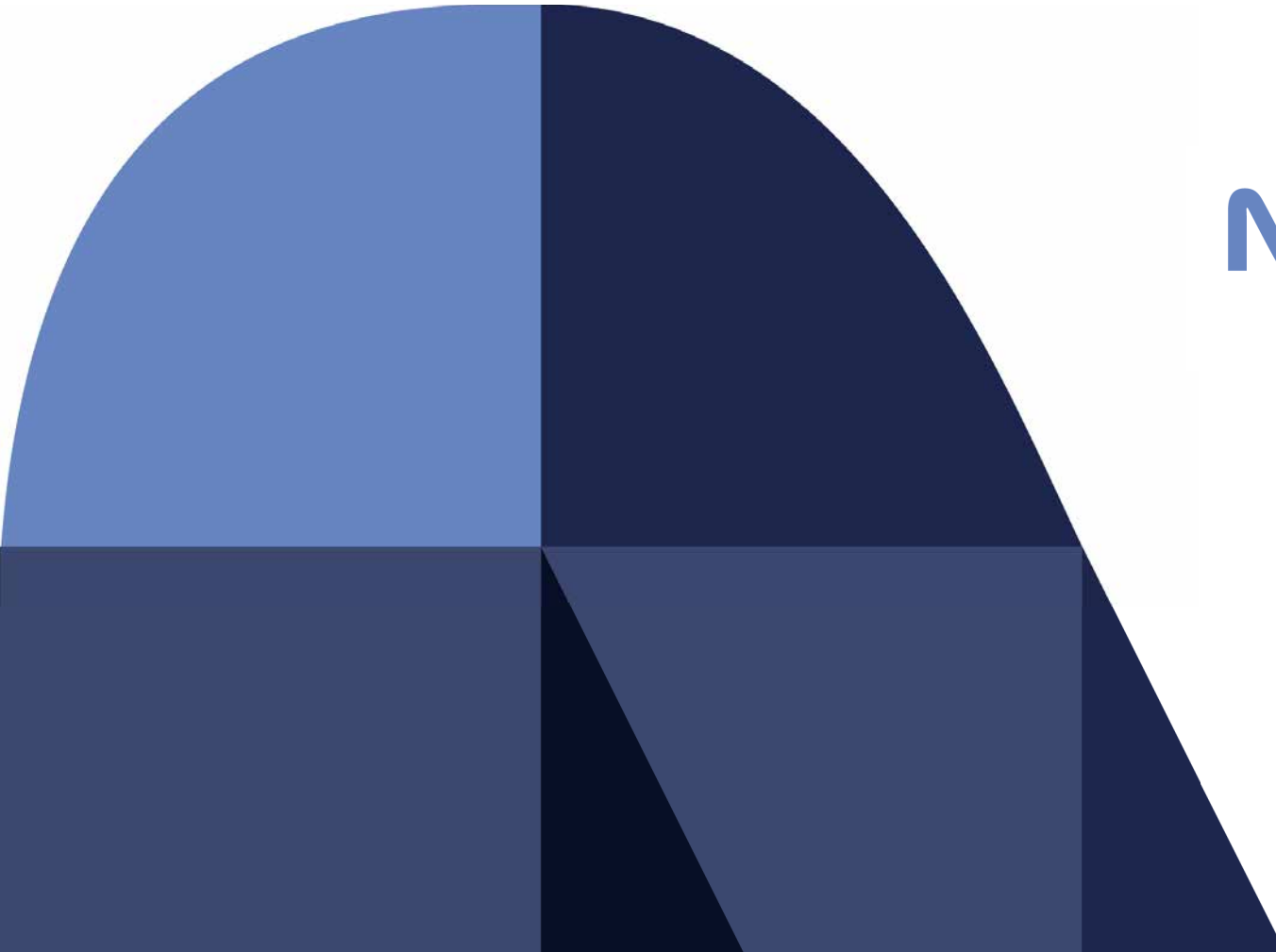
### ⑤ 受賞者の情報発信 (2/2)

フードテックビジネスコンテスト開催後は、起業家支援情報に関する情報を発信した。

no	ファンド・GP	ページURL
1	情報一覧	<a href="https://foodtech-evolve.jp/support/">https://foodtech-evolve.jp/support/</a>
2	Beyond Next Ventures	<a href="https://foodtech-evolve.jp/support/166">https://foodtech-evolve.jp/support/166</a>
3	Future Food Fund	<a href="https://foodtech-evolve.jp/support/170">https://foodtech-evolve.jp/support/170</a>
4	リアルテックファンド	<a href="https://foodtech-evolve.jp/support/172">https://foodtech-evolve.jp/support/172</a>
5	デジタル・トランスフォーメーションファンド	<a href="https://foodtech-evolve.jp/support/174">https://foodtech-evolve.jp/support/174</a>
6	フューチャーベンチャーキャピタル	<a href="https://foodtech-evolve.jp/support/178">https://foodtech-evolve.jp/support/178</a>
7	kemuri ventures	<a href="https://foodtech-evolve.jp/support/180">https://foodtech-evolve.jp/support/180</a>
8	農林中金イノベーション投資事業有限責任組合 (GP=グローバル・ブレイン (株))	<a href="https://foodtech-evolve.jp/support/182">https://foodtech-evolve.jp/support/182</a>
9	アグリビジネス投資育成 (株)	<a href="https://foodtech-evolve.jp/support/184">https://foodtech-evolve.jp/support/184</a>
10	AgFunder SIJ Impact Fund	<a href="https://foodtech-evolve.jp/support/186">https://foodtech-evolve.jp/support/186</a>
11	Full Commit Partners	<a href="https://foodtech-evolve.jp/support/188">https://foodtech-evolve.jp/support/188</a>
12	東京大学協創プラットフォーム開発 (株)	<a href="https://foodtech-evolve.jp/support/190">https://foodtech-evolve.jp/support/190</a>
13	味の素 (株) コーポレートベンチャーキャピタル	<a href="https://foodtech-evolve.jp/support/192">https://foodtech-evolve.jp/support/192</a>
14	ハウス食品グループイノベーション2号ファンド	<a href="https://foodtech-evolve.jp/support/194">https://foodtech-evolve.jp/support/194</a>

基金主体の名称	Beyond Next Ventures 1号イノベーション投資事業有限責任組合 Beyond Next Ventures 2号イノベーション投資事業有限責任組合
GP	Beyond Next Ventures(株)
LP	HIF(株)
ファンド設立時期	1号(2018.03.23) 2号(2018.03.26)
ファンド規模	1号(100億円) 2号(100億円)
主要投資分野	ヘルスケア、フードテック(食料の20~30%を重点として)、バイオ、AI、ロボティクス、IoT、宇宙
フューチャーベンチャー 投資での業種別投資先	インベスティメント(株)、(株)アグリテック、(株)アグリテック、(株)SECURARCHIVE、(株)TOMING 等、100社以上に投資。
主要投資アワード	エンジェル・スカウト・アワード、アワード・シリーズ、エドムンディ・アワード
投資スタイル	バリエーション
リード投資可否	リード投資
投資金額(想定投資額) 範囲	数千万円~100億円
投資方針、実績の特徴 等	創業前・創業中のスタートアップ企業に重点を置き、特に食品・飲料・農業分野に重点を置き、成長性・収益性・市場規模・社会的価値を重視して投資を行います。
Web サイト URL	<a href="https://beyondnextventures.com/jp/">https://beyondnextventures.com/jp/</a>
投資窓口	<a href="mailto:info@beyondnextventures.com">info@beyondnextventures.com</a>

詳細一覧へ



**NTT DATA**

Trusted Global Innovator